

Windows 11 (Windows セキュリティと Windows Update)

Windows11 のセキュリティを一括して管理する機能が「Windows セキュリティ」です。ウィルスの脅威からシステムを守る「Microsoft Defender」や、インターネットを経由した外部からの侵入を防ぐファイアウォール、パソコンに危害を加えるアプリのブロックなど、多数の機能を管理できます。

また、Windows では、不具合を修正するプログラムや新しい機能の追加、セキュリティの強化などが適宜行われています。Windows Update は、これらの更新プログラムを自動的にダウンロードし、Windows にインストールする機能です。

1 Windows セキュリティ

「Windows セキュリティ」には、最初から「Microsoft Defender」というウイルス対策プログラムが含まれています。「Microsoft Defender」は、別のウイルス対策アプリをインストールして有効にすると自動的にオフになり、逆に、別のウイルス対策アプリをアンインストールすると自動的にオンになります。

(1) Microsoft Defender の有効 / 無効の切り替え

- ① Microsoft Defender の有効 / 無効の切り替えは、「設定」^①の「プライバシーとセキュリティ」^②の「Windows セキュリティ」^③から行います。



- ② 「Windows セキュリティ」の画面になりますので、「Windows セキュリティを開く」④をクリックします。



- ③ 「セキュリティの概要」が表示されます。
→ 「ウイルスと脅威の防止」⑤をクリックします。



④ 「ウイルスと脅威の防止」の画面が表示されます。

「ウイルスと脅威の防止」の画面は、他のウイルス対策ソフトがインストールされている場合とそうでない場合で異なる画面になります。

ア 他のウイルス対策ソフトがインストールされている場合

この画面では、「ウイルスセキュリティ」^⑥というウイルス対策ソフトがインストールされています。従って、Microsoft Defender を有効にする必要はありません。

ウイルスと脅威の防止

脅威に対するデバイスの保護。

質問がありますか?
[ヘルプを表示](#)

現在の保護機能のプロバイダーは?
[プロバイダーの管理](#) ^⑦

Windows セキュリティの機能向上に協力
[フィードバックの送信](#)

プライバシーの設定を変更する
Windows 11 Home デバイスのプライバシー設定を表示および変更できます。
[プライバシーの設定](#)
[プライバシー ダッシュボード](#)
[プライバシーに関する声明](#)

ウイルスセキュリティ ^⑥
ウイルスセキュリティは有効になっています。

現在の脅威
✔ 処置は不要です。

保護の設定
✔ 処置は不要です。

保護の更新
✔ 処置は不要です。

[アプリを開く](#) ^⑧

Microsoft Defender ウイルス対策のオプション

★ 状態アイコンの意味

- 緑は、デバイスの保護が十分であり、推奨される操作がないことを意味します。
- 黄色は、推奨される安全性上の操作があることを示します。
- 赤は、直ちに対応をとる必要があることを示します。

→ 「プロバイダーの管理」 ^⑦ クリックすると、セキュリティ対策に対応しているプロバイダーが表示されています。

セキュリティ プロバイダー
 デバイスを保護するアプリとサービスを管理します。

質問がありますか?
[ヘルプを表示](#)

ウイルス対策

Microsoft Defender ウイルス対策
 Microsoft Defender ウイルス対策 は無効になっています。

ウイルスセキュリティ
 ウイルスセキュリティ は有効になっています。

Windows セキュリティの機能向上に協力
[フィードバックの送信](#)

プライバシーの設定を変更する
 Windows 11 Home デバイスのプライバシー設定を表示および変更できます。
[プライバシーの設定](#)
[プライバシー ダッシュボード](#)
[プライバシーに関する声明](#)

ファイアウォール

Windows ファイアウォール
 Windows ファイアウォール は無効になっています。

ウイルスセキュリティ
 ウイルスセキュリティ は有効になっています。

Web 保護
 プロバイダーがありません

[Microsoft Store でセキュリティアプリを検索](#)

★ **上記の説明**

- ・「ウイルス対策」は、「ウイルスセキュリティ」が有効になっていて、「Microsoft Defender」は無効になっている。
 - ・「ファイアウォール」も、「ウイルスセキュリティ」が有効になっていて、「Windows ファイアウォール」は無効になっている。
- 「アプリを開く」**8**をクリックすると、インストールされているウイルス対策ソフトが開きます。

- ★なお、契約の有効期限が過ぎると、当該ウイルス対策アプリは無効になり、自動的に「Microsoft Defender」に切り替わります。



イ 他のウイルス対策ソフトがインストールされていない場合

「ウイルスと脅威の防止」が表示されます。

→ 「設定の管理」⁹ をクリックします。



→ 次の項目のスイッチをクリックして、「オン」(有効) / 「オフ」(無効) を切り替えます。

- ・リアルタイム保護
- ・クラウド提供の保護、またはクラウドベースの保護
- ・サンプルの自動送信
- ・改ざん防止

★ スイッチを切り替えたときに「ユーザーアカウント制御」が表示された場合は、「はい」ボタンをクリックします。



⑤ 「×」ボタンをクリックし、「Windows セキュリティ」を閉じます。

(2) その他のセキュリティ項目

「ウイルスと脅威の防止」以外のセキュリティ項目は、あまり設定を変更する場面はありませんので、触れる必要はないでしょう。


2 Windows Update

Windows では、不具合を修正するプログラムや新しい機能の追加、セキュリティの強化などが適宜行われています。Windows Update は、これらの更新プログラムを自動的にダウンロードし、Windows にインストールする機能です。



(1) 各項目の機能

No.	項目	機能
①	更新状態	パソコンの状態に応じてメッセージが表示されるので、メッセージの内容を確認します。確認したメッセージによって、操作手順が異なります。 → 「★更新状態メッセージに応じた操作手順」へ
②	更新プログラムのチェック	ここをクリックすると、新しい更新プログラムがあるかどうかを確認できます。
③	利用可能になったらすぐに最新の更新プログラムを入手する	Windows 11 バージョン 22H2 以降を持っている場合は、最新のセキュリティ以外の更新プログラムと機能更新プログラムがデバイスで利用可能になるとすぐに入手（現在も今後も）できるよう選択できます。 この項目は、「オン」にしておきましょう。

④	更新の履歴	<p>ここをクリックすると、デバイスにインストールされている更新プログラムの履歴が表示されます。</p> 
⑤	詳細オプション	<p>ここをクリックすると、更新プログラムのオプション設定が開きます。通常は既定の設定のままにしておきます。</p> <p>※詳細は、「(3) 詳細オプション」を参照してください。</p>





(2) 更新状態メッセージとメッセージに応じた操作

更新状態メッセージ	メッセージに応じた操作
最新の状態です	<p>新しい更新プログラムはありません。Windows Update は、完了です。「更新プログラムのチェック」ボタンをクリックすると、新しい更新プログラムがあるかどうかを、もう一度確認できます。</p>
更新プログラムを確認しています...	<p>新しい更新プログラムがあるかどうかを確認している状態です。</p>
「ダウンロード」や「インストール」、「準備」に関するメッセージ	<p>次のようなメッセージが表示される場合、更新プログラムのダウンロードやインストール、準備を行っている状態です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インストール中 ・ダウンロード中 ・準備しています ・更新プログラムをダウンロードしています ・更新プログラムをインストールする準備をしています ・更新プログラムをインストールしています <p>確認が終わったあとに表示されるメッセージを確認し、メッセージに応じた操作をします</p>
オプションの更新プログラムがあります	<p>オプションの更新プログラムとは、重要度がそれほど高くない問題の修正や、Windows に機能やツールを追加するためのプログラムです。必要に応じて、「今すぐダウンロードしてインストールする」をクリ</p>


	<p>ックして、適用してください。</p> <p>画面の右、または下に表示される「最新の更新プログラムに関する情報をお探しですか？」の「詳細情報」をクリックすると、更新内容を紹介したページが表示されます。</p> <p>更新プログラムの「KB」に続く数字と一致するページの内容を確認してください。</p>
再起動が必要です	<p>更新プログラムのインストールが完了し、パソコンの再起動が必要な状態です。</p> <p>「今すぐ再起動する」ボタンをクリックすると、パソコンが再起動します。</p>
更新プログラムが一時停止しています	<p>更新プログラムがインストールされないように、一時的に停止されている状態です。</p> <p>「更新の再開」ボタンをクリックするか、再開日になると、更新プログラムの確認やインストールが再開されます。</p>
利用できる更新プログラムはありません。	<p>「利用できる更新プログラムはありません。」と表示される場合は、「更新プログラムのチェック」ボタンをクリックし、確認が終わったあとに表示されるメッセージを確認し、メッセージに応じた操作をします。</p>

(3) 詳細オプション

「詳細オプション」^⑤では、更新プログラムの受信、PC再起動の通知などの設定を行うことができます。

^① 	<p>その他の Microsoft 製品の更新プログラムを受け取る</p> <p>Windows の更新プログラムと共に Microsoft Office とその他の更新プログラムを取得します。</p>	オン 
^② 	<p>最新の状態にしてください</p> <p>できるだけ早く (アクティブ時間中であっても) 再起動して更新を完了し、再起動の 15 分前には通知をするようにし、このデバイスのスイッチが入っており電源に接続されていることを確認します</p>	オン 
^③ 	<p>従量制課金接続で更新プログラムをダウンロードする</p> <p>データ料金が適用されることがあります</p>	オフ 
^④ 	<p>更新を完了するために再起動が必要な場合に通知を受け取る</p> <p>更新を完了するためにデバイスの再起動が必要な場合は、通知を表示します</p>	オン 
^⑤ 	<p>アクティブ時間</p> <p>これらの時間帯にデバイスが再起動されることはありません。</p>	現在は 7:00 から 1:00 まで 

<詳細オプションの説明>

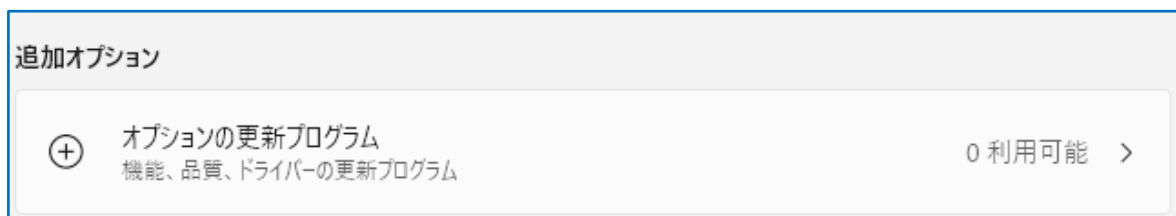
No.	Windows Update 項目	項目の説明	推奨設定
①	その他の Microsoft 製品の更新プログラムを受け取る	Windows に関する更新プログラム以外に Microsoft Office の更新プログラムも入手します。特に理由がなければオンにするとよいでしょう。	オン
②	最新の状態にしてください	セキュリティの状態をいつでも最新にしておくためにオンにしておきましょう。	オン
③	従量制課金接続を使って更新プログラムをダウンロードする	一般的な通信量無制限の場合はオフでよいでしょう。	オフ
④	更新を完了するために PC の再起動が必要な場合に通知を受け取る	更新プログラムのインストール後に再起動が必要な場合、ユーザーに通知します。突然の再起動を避けるためにこの設定をオンにしておきましょう。	オン
⑤	アクティブ時間	再起動しない時間を設定します。 「自動的に確認する」でよいでしょう。 	自動的に確認する

(4) オプションの更新プログラム

Windows11 や Windows10 が搭載されたパソコンには、毎月第 2 水曜日にセキュリティ更新プログラム(修正パッチ)が配信されますが、Windows Update の画面には、修正パッチとは別に、「オプション更新プログラム」の案内が表示されることがあります。

この更新プログラムは、重要度がそれほど高くない問題の修正や、ドライバーを追加するためのプログラムですが、**PC に特段の問題が無い場合はインストールする必要はありません。**

「オプションの更新プログラムは」利用者が手動でインストールするもので、重要な更新プログラムとは異なり、自動的にインストールされることはありません。



<オプションの更新プログラムを適用する方法>

- ・設定→Windows Update→詳細オプション→追加オプション→オプションの更新プログラム→追加したいオプション更新プログラムを選択して適用します。